



八幡小だより

北九州市立八幡小学校
校長 田頭 麗宏



通知表 あゆみの見方について ②

「出欠の記録」

学期ごとに集計した出欠状況をお知らせしています。後期には、1年間の合計もお知らせします。本年度は、新型コロナウイルス感染症予防のため、発熱などの風邪症状が出た際には、無理せず登校を控えるようお願いしています。そこで、朝の電話連絡などでそうした申し出があった際には、欠席ではなく「出席停止」としています。また、分散登校を行ったため「登校対象日」以外の日は全員「出席停止」という扱いになります。「出席停止」の日数分、「出席しなければならない日数」が減ることになります。インフルエンザや流行性耳下腺炎（いわゆる「おたふくかぜ」）などといった伝染病に感染した場合も、登校することが一定の期間認められないので、欠席ではなく出席停止の欄に日数が記入されます。忌引も同様です。

なお、「あゆみ」の見方とは直接関係ありませんが、年間30日以上欠席した場合には、市教育委員会・文部科学省に「長期欠席児童」として報告されます。

「教科の学習の様子（1年間の学習の様子）」

・・・3年生以上の後期の「あゆみ」にだけ記載

学年の目標の達成状況を、年間を通して総合的に評定するものです。3年生以上の学年の後期（例年なら3学期末）に記入することになっています。これも、他の子どもとの比較ではなく、教科の目標に準拠した評価です。ですから、「よい」「がんばろう」「たいへんよい」については、前号でお知らせした「各教科における観点別の学習の様子」と同様にお考えください。

「身体の記録・からだのきろく」

例年なら年度初めに測定した身長・体重・視力を、1学期のあゆみでお知らせすることになります。しかし、本年度は「もともと2学期のあゆみを前期のあゆみに置き換えて使用している」ため、記載箇所がありません。そこで、8～9月に実施した発育測定の結果を、別紙に印刷してあゆみとともにお渡しします。

◇ ペガサス学級・耳の教室の「あゆみ」について ◇

これまでお知らせした内容とほぼ同じ「あゆみ」をお渡しします。大きく異なるのは、「自立活動」の時間があるため「〇期の自立活動の連絡」の欄があり、活動の様子や成長したことなどを記述するところです。なお、交流学級で活動することも多いため、それぞれの子どもの交流学級の担任とも連絡を取り合って評価をしています。

◇ 1年生の「あゆみ」について ◇

例年通り3学期制ならば、1年生の1学期の「あゆみ」だけ、学校生活に適應している項目を「よい」、努力してほしい項目を「がんばろう」の2段階で評価します。しかし、本年度は前後期制なので、他の学年と同様の「あゆみ」をお渡しします。

渡された「あゆみ」は、学期ごとに「あゆみ」をお渡しますので、学校に返す必要はありません。「家庭」保護者についた返す。封筒の「保護者印の欄」に印を押して、始業式の「〇拍子」返す。



おねがい

最近、市内における不審者や不審車両の情報が多く入ってきているとのことです。学校では「いかのおすし」の指導を行っています。ご家庭においても、しっかり子どもたちと話をさせていただくとともに、危険な目にあった、と聞いたらすぐに110番をして、その後学校にご連絡くださいますようお願いいたします。一秒でも早い通報が、事件を防いだり解決に繋がったりと言われています。